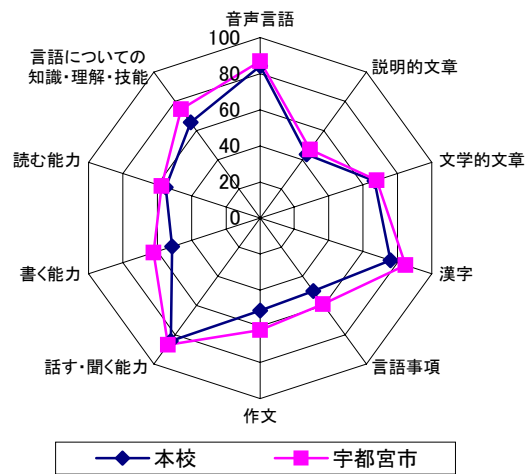


宇都宮市立宝木小学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	84.2	87.0
	説明的文章	43.7	46.9
	文学的文章	66.4	67.9
	漢字	75.9	84.6
	言語事項	50.0	59.1
	作文	51.3	62.0
観点別	話す・聞く能力	84.2	87.0
	書く能力	51.3	62.0
	読む能力	55.0	57.4
	言語についての知識・理解・技能	65.6	74.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (84.2%)	・平均正答率は、市平均正答率よりわずかに下回っている。話題に沿った質問を考る問題の正答率が低い。	・聞く力・話す力を他教科や日常生活でも重点において指導する。
説明的文章 (43.7%)	・平均正答率は、市平均正答率よりわずかに下回っている。文脈に即した内容の理解や筆者の考えの理解に対する誤答があった。	・文脈に即した内容の理解が落ち込んでいるため、今後は読書活動の幅を広げ、物語中心から説明文などの様々な分野の本への関心を広げる。
文学的文章 (66.4%)	・平均正答率は、市平均正答率とほぼ同等であるが、指示語の内容の理解や文中に正しい語句を補充する問題で正答率が低かった。	・読書活動の推進を図るとともに、登場人物の心情や表現のよさについても読み取らせるようにしていく。指示語の内容等については、文章に沿って考える習慣を付ける。
漢字 (75.9%)	・平均正答率は、市の平均を8.7%下回っている。第3学年の漢字の書きについて誤答があった。	・漢字スキルを利用し、形や筆順を正しく書くことを意識して練習させたり、小テストを行い、児童自身が確認できるように繰り返して行い定着を図る。
言語事項 (50.0%)	・市平均正答率を9.1%下回っている。常体と敬体の区別や国語辞典の引き方の理解が十分ではない。	・文章の読み取り時にも、国語辞典を使って語句の意味調べをし、国語辞典の使い方に慣れさせていく。練習問題を行い、文法や表記について習熟させていく。
作文 (51.3%)	・市の平均を下回っている。学習発表会に招待する手紙を書く問題であったが、1学期に招待状を書いているにもかかわらず、他の行事のものだったためか、書けていない児童も目立った。	・形式に沿った手紙を書く機会が少ないので、相手や目的をはっきりさせた手紙を書く機会を設け、適切な内容の手紙が書けるように形式や内容のまとめ方を指導していく。